

留学報告書
～120日間のアメリカ生活を振り返って～

ペンシルバニア・インディアナ大学
外国語学部生（中期）

私はアメリカのペンシルバニア州にあるペンシルバニア・インディアナ大学という大学に留学しました。ペンシルバニア州はアメリカの東海岸に位置し、近くにはニューヨークやワシントンといった大都市があります。

私が今回留学先に選んだ大学は通称 IUP と呼ばれていますが、キャンパスはまるでひとつの街のように広く綺麗で、そこで出会った学生たちも、教授の方々もとても親切な人ばかりでした。名古屋学院大学から IUP に留学したのは私だけだったので、最初は寂しさや不安しかありませんでした。しかし、ルームメイトやクラスメイトをはじめとして、IUP の学生やスタッフの人たちがたくさん話しかけてくれたので、日に日に友達も増えました。日本人は非常に少ないですが、留学生は多く、オリエンテーション週間の初日に留学生対象のウェルカムパーティーがあったので、その日にドイツ人や台湾人、インド人など様々な国籍の友達を作ることができました。彼らと年齢や専攻はばらばらでしたが、最後までとても仲良くしてくれました。

授業は、プレゼンテーションの授業やコミュニケーションの授業、ライティングの授業やアメリカの教育史を学ぶ授業まで幅広く多くの授業をとっていました。どの授業でも、日本に比べてディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションをする機会がとても多かったです。私はアメリカに来た当初、スピーキングは全く自信がない状態だったので、IUP の授業スタイルに慣れるまで大変でした。英文の読み書きはある程度できて、自分のイメージ通り英語は話せないし、ネイティブの英語も想像の何十倍も速くて完璧に聞き取れない時もあり、最初の一か月は想像と現実のギャップから非常に悔しい日々が続きました。しかし同じ授業で仲良くなった友達たちが分かるまで授業の概要を説明しなおしてくれたり、教授も授業が終わった後、丁寧に教えなおしてくださいました。周りの人たちの助けがあったおかげで、辛い時期も乗り越えることができました。

そのうえ、ルームメイトと毎日積極的に話したり、現地の友達とランチやディナーをする機会が増えてくると、日に日に早口の英語も聞き取れるようになっていきました。特に、彼らの話す英語から学んだフレーズを自然に自分も使えるようになった日は成長を感じ嬉しかったです。ルームメイトがアメリカ人だったこともあり、スラングや、現地の若者言葉などもたくさん教えてもらって覚えることができました。

また、4か月という短い期間でしたが、たくさんのイベントに参加したり、いろいろな場所に遊びに行くことができました。大学が企画してくれたイベントは、ピッツバーグ観光やワシントン DC への遠足、野球観戦などがありました。ピッツバーグはインディアナから最も近い都会で、湖がとても綺麗で活気がありました。数々のアジア料理のお店もありました。ショッピングがとても楽しかったです。ワシントン DC はとても高級感のあるきらびやかな都市で、リンカーン記念館やスミスソニアン博物館、ホワイトハウス、ジョージタウンなど、有名な観光スポットを堪能しました。

それに加えて、私は個人的に JAPASO という、IUP の日本文化研究のクラブに入っていたので、JAPASO が主催していたハロウィンパーティーや、クリスマスパーティーにも参加しました。ハロウィンパーティーではみんなで仮装してスナック菓子やゲーム、おしゃべりを楽しんだり、クリスマスパーティーではピザを食べながら映画を見て楽しみました。そして大学のイベント以外にも様々なことがあり、非常に充実した毎日を過ごすことができました。個人的に行った旅行では、現地の友達たちと一緒にナイアガラの滝やニューヨークシティに遊びに行ったり、ルームメイトの家族と一緒にご飯を食べに行ったりしました。普段の日常生活でも友達に誘われてバスケットボールやバレーボールを楽しんだり、ルームメイトと近くのカフェへ行ってコーヒー巡りを楽しみました。

ナイアガラ滝へは友達の手で、深夜3時ごろ出発し、朝から滝つぼでのクルージングをしました。写真で見る何倍も実際の滝は壮大で迫力があり、寒さを忘れるくらい感動的でした。国境も超えてカナダのオンタリオにも行くことができました。国が変わるとやはり雰囲気もがらりと変わり、不思議な感覚でした。カナダはアジア人も多くにぎやかでアミューズメント施設のような場所もあり、大変良い思い出となりました。

サンクスギビングデーの連休では、4日間ニューヨークシティーに観光しに行きました。ニューヨークシティーへも友達の手で往復12時間以上かけて行きました。深夜に出て朝に到着したので、1日目は朝からタイムズスクエアへ行き、ショッピングをしたり、自由の女神を見に行きました。普段なかなか食べることができなかった日本食のお店もたくさんあり、数か月ぶりにお米を食べることができて感動しました。2日目はブルックリンブリッジや、エンパイアステートビルディングに行きました。2日間とも天気に恵まれ、特にエンパイアステートビルディングから見る夜景は、ニューヨークシティーの街並みを一望することができ、言葉では言い表せないほど綺麗でした。一生忘れられません。サンクスギビングのパレードを見ることもできたり、アメリカで有名なニュース番組のインタビューにも答えることができたので非常に貴重な経験ができました。3日目はコリアンタウンで韓国料理を食べた後、ブロードウェイへミュージカルを見に行きました。本場のミュージカルを見る際、アメリカンジョークを学ぶ機会もあり、観賞しながら学んだアメリカ文化もたくさんありました。4日目はニュージャージー州の、地元で有名なダイナーに行き、軽食をみんなで食べましたが、ドラマに出てくるようなアメリカ人たちのリアルな生活を、この目で実際に見て自分も体験することができました。アメリカ人の価値観、それに私があこがれていたアメリカ文化に触れられて、とても充実した旅行でした。

改めて振り返ると、この4ヶ月間は私にとって非常にかげがえのない時間で貴重な経験でした。アメリカ人やほかの留学生との価値観の違いに悩んだり、英語が思うように話せず葛藤することもありましたが、アメリカで過ごした日々のすべてが勉強で、日本にいたら決して経験できない、新鮮な日々でした。この経験から学んだたくさんのことを忘れることなく、今後も日本での生活を送っていきたいと思います。



